9/6 第９回米泥棒☆雪合戦 NUMATA

米泥棒はだれだ？

夏の雪合戦大会「第９回米泥棒☆雪合戦ＮＵＭＡＴＡ」（北海道雪合戦連盟道北支部北空知地区主催）が、９月６日（日）沼田町役場前駐車場で開催されました。

大会は約８５トンの天然雪で作られたコートで行われ、道内外からエントリーした全１８チーム（約１５０名）が優勝賞品の「雪中米」３００キロを目指し、白熱した戦いが繰り広げられ、町内雪合戦チーム「ＮＭＴ」が見事優勝に輝きました。



9/8 加工用トマト収穫体験事業

ちょっと暮らし体験者

日本一の加工用トマト生産のまちを目指す取り組みとして、ちょっと暮らし体験者を対象とした体験イベントが９月８日（火）沼田町内で開催され、参加した５世帯７名の皆さんが加工用トマトの収穫や工場見学、ケチャップ作りなどを通じて交流を深めました。

参加された皆さんは、自分たちが収穫したトマトが製品へ生まれ変わるプロセスを学び、加工用トマトへの理解を深め、ケチャップ製作体験では２班で味を比べながら終始和気あいあいとした雰囲気で体験されました。



9/8 子ども文化劇場

プロジェクションマッピング×音楽劇

教育委員会が９月８日（火）沼田小学校（内藤竜治校長）を対象に常操性や豊かな人間性を養うことを目的として小学校体育館で「子ども文化劇場」を開催しました。

今回は「劇団ポプラ」を招き、「アラジン」をプロジェクションマッピングと音楽が融合したミュージカルとして上映しました。目の前で繰り広げられる迫力ある演技と美しい歌声、そして最新技術を駆使した光の演出に、感激した児童たちは、体全体で舞台芸術を楽しんでいました。



9/8

めざせ全国大会へ

リトルポプラ全道大会出場 表敬訪問



沼田リトルポプラが９月１２日（土）、１３日（日）深川市で開催される「第２４回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会」と１０月１７日（土）、１８日（日）江別市で開催される「ななかまど杯第３２回北海道小学生バレーボール大会」へ出場することから９月８日（火）役場を訪れました。

キャプテンの平泉詩羽（ひらいずみうたは）さんは「２つの大会で一人一人自分たちの練習の成果を発揮できるよう、全力・笑顔で頑張り全国大会出場を目指します」と大会への意気込みを力強く語り、その後、他の選手たちも一人ずつ、大会への熱い決意を述べられました。

横山町長は「２つの大会で勝ち上がり、全道大会への出場おめでとうございます。ワンチームで普段通りの力を発揮し全国大会への出場を目指し頑張ってください」と激励されました。

9/10

沼田中学校から

令和８年熊本地震災害の義援金の寄附



令和８年７月２８日に発生した熊本地震により被災された方々の生活を支援するために、沼田中学校（吉田久校長）では生徒会が中心となり、朝の時間に各教室を回って義援金を募り、集まった１３，８８１円の義援金を鵜野遥成（うのはるせ）生徒会長ほか役員２名から横山町長へ手渡されました。

横山町長は「役場でも義援金の募金を行っていますので、いただいた義援金と合わせてしっかり届けさせていただきます」と話されました。

9/11

災害について考える

１日防災学校



教育委員会が９月１１日（金）沼田小学校（内藤竜治校長）と沼田中学校（吉田久校長）を対象に「１日防災学校」を開催しました。

今回の防災学校は、災害発生時に様々な危険を予測し、安全に行動を取るとともに、地域の人の安全を考えて行動できる沼田っ子を目指し、小学校１年から３年生、４年生から６年生、中学生に分かれて行われ、自助・公助・共助を学び、災害について考えました。

9/11

北竜町と北海道教育大学岩見沢校と連携

吹奏楽活動支援に関する連携協定



中学校吹奏楽部の活動支援に関する連携協定を９月１１日（金）沼田町、北竜町（佐々木康宏町長）、北海道教育大学岩見沢校（山本理人キャンパス長）の３者で、締結しました。

現在、吹奏楽部は沼田中・北竜中の合同で活動しており、今後は協定に基づき、岩見沢校の音楽文化専攻の学生・教員が部活動支援員として派遣され、パート練習を中心としたオンライン指導を２週間に１回程度、合奏指導を中心とした実地指導を月に１回程度行っていただくこととなっております。

締結式には、岩見沢校の山本キャンパス長、北竜町の田中佳樹（たなかよしき）教育長、三浦教育長が出席され、三浦教育長は「子ども達にとって、新たな学びの場となり、経験を積み可能性が広がることを願っています」と話されました。

9/14

きりえであそぼう！

絵本作家かとうまふみさんワークショップ



絵本作家・指人形作家 かとうまふみ先生によるワークショップが９月１４日（月）開催され、沼田小学校（内藤竜治校長）１、２年生の児童たちが参加しました。

ワークショップでは、絵本の読み聞かせが行われたほか、児童がそれぞれ切り絵を作り、かとう先生のイラストが描かれた画用紙に貼り付け、一つの作品を完成させました。

9/14

自分の手で刈る、実りの秋

小学５年生稲刈り・はさ掛け体験



沼田小学校（内藤竜治校長）５年生が、９月１４日（月）稲刈り・はさ掛け体験を行いました。これまで田植えや農業用ダムの見学など継続して取り組んできた集大成として児童たちは一株一株丁寧に刈取りました。

児童たちは、鎌の持ち方や稲の切り方を教わり、最初は慣れない鎌の扱いに苦戦しながらも、コツをつかむと手際よく収穫し、刈取った稲は小学校に持ち帰り、はさ掛けし、米作りの大変さと収穫の喜びを実感しました。

9/18

秋の交通安全運動を前に

夜高パトロール隊出動式



９月２１日から３０日までの秋の交通安全運動を前に、夜高パトロール隊（石田隆広総隊長）の出動式が、９月１８日（金）沼田小学校駐車場で行われました。

石田総隊長は、隊員の方々に「暗くなる時間が早くなってきており、事故が増える時期ですので、改めて気を引き締めて活動していきましょう」と激励されました。

また来賓として、深川警察署沼田警察庁舎の中西孝志（なかにしたかし）所長、町交通安全協会の西尾昌浩（にしおまさひろ）会長、自治振興協議会の上林文雄（かんばやしふみお）会長、横山町長、三浦教育長が出席され、交通安全と防犯意識を再確認しました。

9/18

映画で認知症を学ぶ

認知症フォーシーズン【夏】



沼田町で学ぶ認知症フォーシーズン【夏】が９月１８日（金）開催されました。

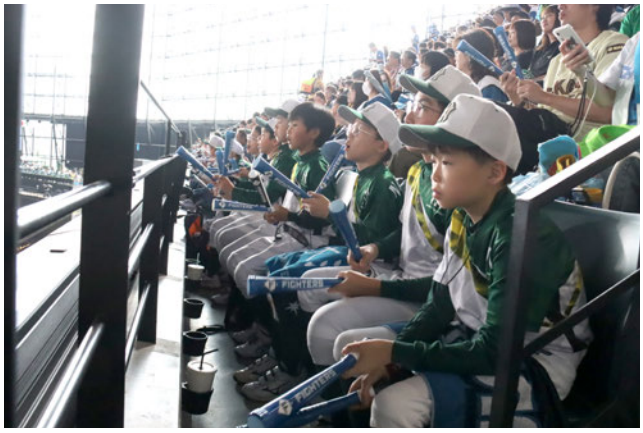
今回は、若年認知症と診断された男性の実話をもとに作成された映画「オレンジ・ランプ」が上映され、約７０名が参加されました。

映画では若年認知症と診断された男性とその家族が葛藤しながらも前を向いて共に歩んでいく姿が描かれ、参加者は真剣なまなざしでスクリーンに見入ってました。

9/19

プロの技術を間近で体感

沼田ヤングイーグルス 日ハム観戦ツアー



沼田町野球少年団「沼田ヤングイーグルス」の団員らが９月１９日（土）北海道日本ハムファイターズの試合を観戦しました。

今回の観戦ツアーは、町が参画するオール北海道ボールパーク連携協議会事業及び夜高あんどん祭り５０回記念事業の一環として実施され、試合観戦と北海道ボールパークＦビレッジを見学しました。団員は、プロ選手の打撃スピードや疾走感、正確で華麗な守備を食い入るように見つめ、一球一球に歓声を上げながら熱い声援を送っていました。

10/1

自家用有償旅客運送バスに転換

きたそライナー号運行開始セレモニー



８０年以上に渡り運行を担っていただいてきた空知中央バス株式会社（岡田浩司取締役社長）のバス路線（沼田～深川間）が１０月１日より沼田町営バスに変更となりました。

今後は、今まで空知中央バスで運行していた便を町営バスの新規路線として、空知中央バス株式会社に委託し運行を続けてまいります。

運行開始セレモニーで横山町長は「より長く持続できる形として沼田町営バスに転換し、運行を空知中央バス株式会社に委託いたしました。買い物・通院など交通の足として長く運行ができることを願っています」と話されました。

10/2

将来の夢と地域への関心を深める

沼田中学２年生職場体験



中学生へのキャリア教育を目的とした職業体験が、１０月１日（木）町内の事業所６ヶ所の協力で行われ、中学２年生の１５名は、各事業所で指定された服装に着替え、職場体験を経験しました。

陸上自衛隊沼田分屯地では、自衛隊の概要の説明や沼田分屯地の隊舎の見学、深川消防組合沼田支署では、現場で使うロープワークや放水体験などを行い、生徒達はそれぞれの事業所で将来のことを考える貴重な経験となりました。

10/3

秋風を感じて爽やかに完歩

明日萌・ほたるの里ウォーキング



明日萌・ほたるの里ウォーキングが１０月３日（土）開催され、町内外から集まった１１５名の参加者が秋の景観を楽しみながら心地よい汗を流しました。

イベントでは、体力に合わせて８キロ、４キロコースが設定され、河川敷などを歩き秋の深まりを感じながら思い思いのペースで歩みを進めました。コースの途中には、沼田ライオンズクラブによる給水所などが設けられ、ゴールした方には沼田町の新米３００ｇが贈呈されました。

10/4

１４１日間延べ７,２１７名が参加

おはようラジオ体操閉会式

沼田ラジオ体操会（篠原暁会長）、教育委員会が共催する「おはようラジオ体操」の閉会式が１０月４日（日）役場前広場（駐車場）で行われました。

今年は、５月１日（金）から雨天を除く１４１日間の開催となり、延べ約７,２１７名の町民の皆様にご参加いただきました。

閉会式では、篠原会長から「また来年も元気にお会いしましょう」と挨拶がありました。



百歳を迎えられた方々へ記念品を贈呈しました

今年度に１００歳を迎えられた方に対し、社会の発展に寄与されてきたことへの感謝と、自らの生活向上に努める意欲を更に高めていただくことを目的に、内閣総理大臣と沼田町からお祝い状と記念品の贈呈が９月１６日（水）行われました。

今年は、辻忠之（つじただゆき）さん、宮脇敏一（みやわきとしかず）さん、佐藤（さとう）ハルヱさん、野田一枝（のだかずえ）さん、貝野（かいの）テルヱさん、鳴海（なるみ）キヱさんが１００歳を迎えられ、横山町長からお祝い状と記念品が渡されました。











秋の味覚と体験が大集合

秋のにぎわい産業まつり















沼田町にぎわい交流創出事業として「秋のにぎわい産業まつり」が１０月３日（土）石狩沼田駅前周辺で開催されました。

沼田夜高太鼓による演舞で始まった本イベントは「新米すくいとり」やトマト縁日コーナーのほか、石狩沼田駅のホームでは七輪でジンギスカンやサンマを焼く「ホームＤＥパーティ」、トロッコ乗車体験などの企画や「消防フェスタ」での放水体験、キッチンカーやコストコ市などが並ぶ「賑わい市」など多くの催しが開催されました。

特設ステージでは、人気キャラクターによるクイズ大会やイベントの最後には、雪中米大使の「みのや雅彦」さんによる「雪中米」誕生３０年記念ライブが行われ、温かい歌声とトークで会場を魅了し、多くの家族連れや町民らが秋の１日を賑やかに過ごしました。